

「シーニックバイウェイ(仮称)戦略会議」の設置及び会議の開催について

平成17年12月5日
国土交通省道路局

○ 近年、時代の変化の中で、道路に対するニーズが多様化し、沿道との関係に配慮した道路空間の有効活用、景観を楽しむための美しい道路空間形成等が求められています。

このような動きを一層進めるためには、地域が主体となり、都市部や郊外部などそれぞれの特徴に応じ、地域固有の景観、自然等の資源を有効に活用し、訪れる人と迎える地域の交流による地域コミュニティの形成に資する美しい道路空間形成を実施するための地域の活動を支援する仕組みや体制の確立が必要となります。

このための新たな支援の仕組みや体制などの構築に向けて、幅広く総合的に検討することを目的として、「シーニックバイウェイ(仮称)戦略会議」を設置し、この度、第1回会議を下記のとおり開催することとしました。

○会議メンバー(別紙参照)

○開催日時

平成17年12月7日(水)14:00~16:00

○場所

霞が関 東京會館(千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階)

○会議資料は、会議終了後、道路局ホームページに掲載いたします。

【問い合わせ先】

道路局地方道・環境課道路環境調査室 沿道環境専門官 横田敏幸
代表03-5253-8111 (内線38212) 直通03-5253-8497



[国土交通省トップページ](http://www.mlit.go.jp)



[道路局トップページ](#)

別紙

シーニックバイウェイ戦略会議委員候補者名簿

(委員長)	奥田 碩	日本経団連会長
(副委員長)	中村 良夫	東京工業大学名誉教授
	家田 仁	東京大学大学院工学系研究科教授
	石田 東生	筑波大学大学院システム情報工学研究科教授
	岩沙 弘道	日本経団連国土・都市政策委員長
	江頭 邦雄	日本経団連観光委員長
	大石 久和	財団法人 国土技術研究センター理事長
	隈 研吾	建築家・慶應大学教授
	コシノ ジュンコ	ファッションデザイナー
	新町 光示	社団法人 日本旅行業協会会長
	千田 稔	国際日本文化研究センター教授、人文地理学会会長
	高竹 和明	社団法人 日本青年会議所会頭
	田中 節夫	社団法人 日本自動車連盟副会長
	玉川 孝道	西日本新聞副社長
	中村 徹	社団法人 日本観光協会会長
	松田 裕子	財団法人 日本農業研究所研究員
	森野 美徳	都市ジャーナリスト、日経広告研究所主席研究員
	柳生 博	財団法人 日本野鳥の会会長
	横島 庄治	NPO法人 環境システム研究会理事長

[戻る](#)

日本風景街道(旧称:シーニックバイウェイ)の正式名称決定及びモデルルート公募の開始について

平成18年1月20日
国土交通省道路局

■「日本風景街道(旧称:シーニックバイウェイ)の正式名称決定について

- 地域が主体となり、地域固有の景観、自然等の資源を有効に活用し、訪れる人と迎える地域の交流による地域コミュニティの形成に資する美しい道路空間形成を実施するための取組を「シーニックバイウェイ(仮称)」として進めておりましたが、このたび名称を『日本風景街道(にっぽんふうけいかいどう)(英語名: Scenic Byway Japan)』と決定いたしました。

■モデルルートの公募開始について

- これまでの日本の道路は、単にモノ・人を運ぶ機能を有する“道具”として整備が進められ、美しさ・景観・味わい等のニーズは優先されてきませんでした。その一方で、近年、景観向上や地域主体の道空間づくりを支えるための法制度の整備や社会貢献に対する意識の高まりから、住民の積極的参加のもと、道路に対する多様なニーズに対応するための様々な取組が進められています。このような、地域が主体となった動きを一層進めるために、国土交通省では、自然、歴史、文化、風景などをテーマとして、美しい地域と道空間づくりの支援を通じて「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指した「日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)」の検討を行っています。そこで、実際に道空間づくりに取組む地域への支援のあり方、地域が主導となった取組を行う上での課題等を把握し、新たな仕組みや制度の検討を行うため、ケーススタディとして先行的に取り組むモデルルートを公募することにいたしました。

- 公募スケジュール応募受付開始:平成18年1月20日

応募受付締切:平成18年3月31日(消印有効)

モデルルート選考・発表:平成18年4月

- 公募の詳細につきましては、以下のインターネットホームページをご参照下さい。

URL: <http://www.hido.or.jp/fukeikaidou/index.html>

- [応募要領](#)(PDF)
- [参考資料](#)(PDF)

【問い合わせ先】

道路局地方道・環境課道路環境調査室 沿道環境専門官 横田敏幸
代表03-5253-8111(内線38212) 直通03-5253-8497



新しい街道空間づくり

「街道の担う役割の復古・再生」「地域資産の活用」「新たな・多様な価値の創造」「使われ方の負の遺産の清算」を地域住民や企業と行政の協働で行います。



日本風景街道とは

▶ 詳しく知りたい

モデルルート公募のお知らせ

▶ 詳しく知りたい

トピックス

- 審査方法の概要の
- ウェブサイトの公開

コンテンツ

- | | | |
|-----------------------------|-----------------------|---|
| ■ 日本風景街道とは
・概要 | ■ 日本風景街道戦略会議
・設立趣旨 | ■ モデルルート公募
・応募要領
・審査方法の概要 NEW!!(2006.3.20)
・提出先・お問合せ先 |
| ■ プライバシーポリシー
・国土交通省内のページ | ■ プレスリリース
・プレスリリース | ■ シーニックバイウェイ事例集
・事例のリンク集 |

Copyright © 2006 Scenic Byway Japan All rights reserved.

日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）

～ モデルルート 応募要領 ～

～ 目 次 ～

1. モデルルート公募の趣旨	1
2. 公募の内容	1
3. 応募主体	2
4. 応募条件	2
5. 選考者	2
6. モデルルート採択までの流れ	3
7. 公募スケジュール（予定）	3
8. 提出先・問合せ先	3
9. 申請書類	4
10. 選考	7
11. モデルルート採択後の活動について	7
12. その他	7

<添付資料>

『日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）』モデルルート 申請書

平成18年1月

1. モデルルート公募の趣旨

～ケーススタディを通じた日本風景街道の検討～

これまでの日本の道路は、単にモノ・人を運ぶ機能を有する“道具”として整備が進められ、美しさ・景観・味わい等のニーズは優先されてきませんでした。

その一方で、近年、景観向上や地域主体の道空間づくりを支えるための法制度の整備や社会貢献に対する意識の高まりから、住民の積極的参加のもと、道路に対する多様なニーズに対応するための様々な取組が進められています。

このような、地域が主体となった動きを一層進めるために、国土交通省では、自然、歴史、文化、風景などをテーマとして、美しい地域と道空間づくりの支援を通じて「訪れる人」と「迎える地域」の豊かな交流による地域コミュニティの再生を目指した日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）の検討を行っています。

今回、実際に道空間づくりに取組む地域への支援のあり方、地域が主導となった取組を行う上での課題等を把握し、新たな仕組みや制度の検討を行うため、ケーススタディとして先行的に取組むモデルルートを公募します。

2. 公募の内容

沿道等の地域住民主導のもと、地域固有の資源を活かし、美しく味わいのある道空間づくりを行う『中心となる道路（モデルルート）、及びその道路と一体となり活動を展開する地域』を募集します。

モデルルート、及びその周辺地域の様々な資源や、それらを活かした活動、及び取組体制等についてご提案下さい。

3. 応募主体

本公募の趣旨をご理解頂いたうえ、地域に対して愛着、誇りを持ち、主体的に事業を実施する下記の組織を公募の対象とします。

- ・ 道路管理者と実施内容に応じて必要な組織（地域住民、NPO、町内会・自治会、企業、自治体等）により構成され、活動を推進する組織（以下、「みちづくりパートナーシップ」という）
 - ※ 応募時点でみちづくりパートナーシップが設立されていない場合でも、その設立が明らかであり、かつ主な道路管理者の合意が得られている場合は、みちづくりパートナーシップを構成する組織が応募主体となることができます。
 - ※ 既に何らかの活動を行う組織がある場合、その主体組織を活用して頂いて構いません。

4. 応募条件

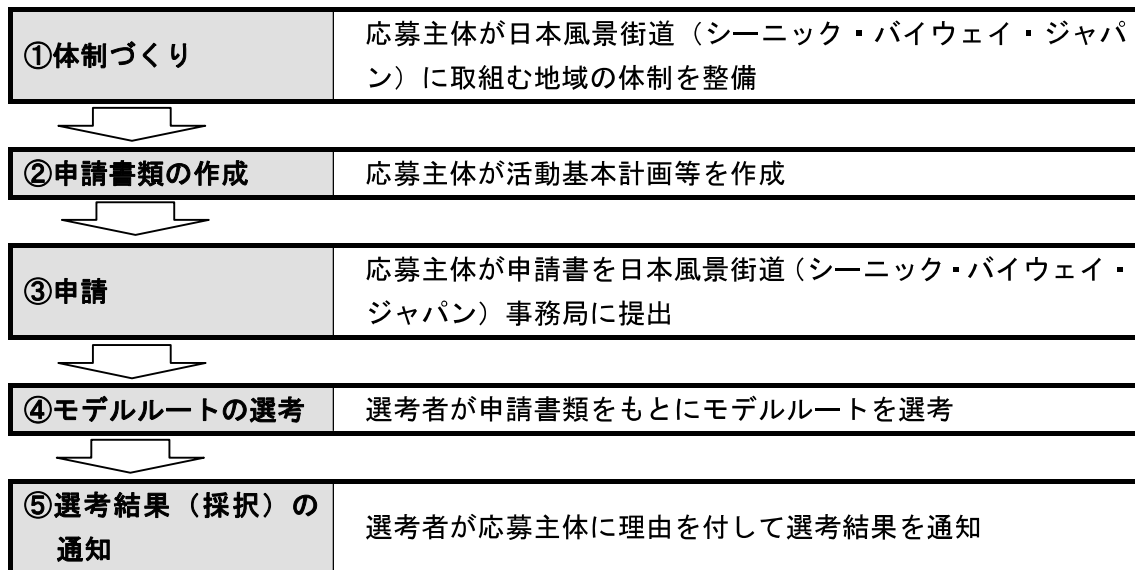
モデルルートを応募する組織は、下記条件を全て満たす必要があります。

- 地域資源の活用、保全、及び活動の方針が明確になっておりそれを実行する能力がある組織
 - 将来にわたって継続的な活動が可能な組織
 - 関係する者（所管する行政機関や利害関係者、既存活動実施者等）と連携・調整可能な組織
- ※ 宗教活動、政治活動、選挙活動を目的とする活動、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第二条第二号に規定する暴力団をいう。）若しくは暴力団の統制下にある活動を目的とする団体は除く

5. 選考者

選考者は、日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）戦略会議とします。

6. モデルルート採択までの流れ



7. 公募スケジュール（予定）

応募受付開始：平成18年1月20日

応募受付締切：平成18年3月31日（消印有効）

モデルルート選考・発表：平成18年4月

8. 提出先・問合せ先

- ・申請書類（様式1～3）は各3部ご提出下さい。（必要な方は、補足資料も3部ご提出下さい。）
- ・電子メールやFAXによる申請書類の提出はご遠慮願います。
- ・申請書類に不備がある場合、受付できませんのでご注意下さい。
- ・申請書類の提出、公募に関する問い合わせは下記までお願いします。

『日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）』戦略会議事務局

（財団法人 道路新産業開発機構内）

担当：浜田 黒水

〒104-0045

住所：東京都中央区築地7-17-1 住友不動産築地ビル2F

電話：03-3545-6633

FAX：03-3545-6660

e-mail：fukeikaido@hido.or.jp

9. 申請書類

○応募主体の組織概要

(添付資料の様式1-1または1-2に従い、下記内容についてご記入下さい。)

※みちづくりパートナーシップが形成されている場合は、添付資料の様式1-1を、今後設立する場合は、添付資料の様式1-2をご使用下さい。

➤応募主体の組織概要

- 組織・団体名、代表者氏名 など
- 組織・団体の活動目的、設立時期 など
- みちづくりパートナーシップを構成する（もしくは今後構成する）組織・団体の名称・組織形態 など

➤連絡先

- 連絡窓口となる組織・団体の名称、担当者氏名、所在地、電話番号 など

○応募主体に含まれる組織・団体等のこれまでの活動実績

(添付資料の様式2に従い、下記内容についてご記入下さい。)

➤該当する組織・団体の名称

- 活動基本計画を遂行するに際し、参考となる活動実績（実施時期、実施場所、内容など）

○活動基本計画

(添付資料の様式3に従い、下記内容についてご記入下さい。)

※活動基本計画(様式3)は全体で10ページ程度で作成して下さい。

①モデルルート of 名称

②取組テーマ

- モデルルート、及びその道路と一体となり活動を展開する地域の自然、歴史、文化、風景などの特長を踏まえ取組んでいく活動のテーマ

③コンセプト

- モデルルート、及びその道路と一体となり活動を展開する地域の目標像や基本方針

④活動方針

- 活動方針を記載

※その際、下記の日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)の取組の4つの視点を踏まえ、簡潔に記載して下さい。

＜日本風景街道(シーニック・バイウェイ・ジャパン)の取組の4つの視点＞

I. 道の担う役割の復古・再生

: 交流の場、生活空間としての道の機能を復古・再生

II. 地域の資産の活用

: “人”や“地域に眠る観光資源”等を有効に活用

III. 新たなもしくは多様な価値の創造

: オープンカフェやビューポイントの設置等の新たな創意工夫により楽しめる道空間を創造

IV. 使われ方の負の遺産の清算

: 景観を阻害する看板や電柱等の負の遺産を清算し、美しい沿道景観を再生

⑤活動エリア

- モデルルートの範囲やモデルルートと一体となり活動を展開する地域の範囲が記載された図

※可能な限り写真や図面を利用して、分かりやすく記載して下さい。

⑥現状およびセールスポイント

- モデルルート、及びその道路と一体となり活動を展開する地域の現況、特長、セールスポイント、課題等

※可能な限り写真や図面を利用して、分かりやすく記載して下さい。

⑦ 想定される個別事業の内容、実施場所、及び事業実施者

- 個別事業の内容と日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）の取組の4つの視点（P5 参照）との対応、及び個別事業の内容と実施者、実施場所の対応
※個別事業の内容ごとに、実施者と実施場所等の対応が分かるように出来るだけ具体的に記載して下さい。
※可能な限り写真や図面を利用して、分かりやすく記載して下さい。

⑧ 期待される効果

- 事業により期待される効果
※日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）の取組の4つの視点（P5 参照）に合わせて、できるだけ具体的に記載して下さい。

⑨ スケジュール

- 事業スケジュール
※H18年度内の実施スケジュールだけでなく、その後の活動等が分かるように記載して下さい
※実施スケジュールは分かる範囲で記載して下さい。

⑩ 資金計画

- スケジュールに応じた活動を実施する際に、必要な資金を確保するための計画（調達先や調達方法など）
※資金計画は分かる範囲で記載して下さい。

○補足資料

※必要に応じ、A4サイズの書面10枚程度で提出して下さい。

- 必要に応じて写真や図面を活用し、モデルルート及びその道路と一体となり活動を展開する地域の現状や活動状況等を補足説明する資料

（注意）

- 上記の必要書類のみを事務局にお送り下さい。その他の書類をお送り頂いても、選考の対象とはなりませんのでご注意ください
- 提出書類は返却致しません
- 採択された場合には、「行政機関の保有する情報の公開に関する法則」（平成11年5月14日法律第42号）に基づき、不開示情報（個人情報、法人の正当な利益を害する情報等）を除いて情報公開の対象となります

10. 選考

(1) 選考手順

- ①選考者による書類内容の確認（資格要件の確認）
 - ②選考者によるモデルルートを選考
- ※ 必要に応じてヒアリングを行う場合があります。

(2) 選考基準

日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）の取組の4つの視点（P5 参照）を踏まえ、下記の5つの観点から総合的に選考します。

- 地域の魅力
- 組織力
- 取組の独創性・新規性
- 取組の継続性
- 取組の効果

(3) 選考件数

20 件程度

(4) 選考結果の通知

モデルルートを選考結果は、選考終了後に理由を付して応募代表者に通知します。

11. モデルルート採択後の活動について

採択されたモデルルートは、平成18年度に必要なに応じて活動の実施計画を策定し、計画に基づいた事業を実施して頂くこととなります。

その上で、日本全国への展開を目指している日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）の仕組みや制度づくりを行うために、取組の進め方や事業の進捗状況、活動上で必要な仕組みや制度、支援などについて具体的な意見を頂くなどのご協力をお願いします。

12. その他

参考資料として、去る12月7日に開催されました日本風景街道（シーニック・バイウェイ・ジャパン）戦略会議資料、議事概要等を下記ホームページで閲覧またはダウンロードできます。

URL : <http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/scenicbyway/index.html>

URL : <http://www.hido.or.jp/fukeikaidou/index.html>

「日本風景街道（シーニックバイウェイジャパン）」戦略会議に よる東オホーツクシーニックバイウェイの視察 (2月18日～19日)

2月18日



ビューポイントパークキング「メルヘンの丘」視察(女満別町)



フィールドワークショップ(於:網走グランドホテル)

2月19日



流水ウォーク体験(斜里町宇登呂)



ラップアップミーティング(於:レストハウス きよさと)